

## 万国津梁会議の概要について

## 1. 万国津梁会議の設置と目的について

沖縄県では、「21 世紀に求められる人権尊重と共生の精神を基に、時代を切り開き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな美ら島沖縄を創造する」ことを基本理念とした『沖縄 21 世紀ビジョン』を平成 22 年に策定して以降、その実現に向けて取り組んでおります。

沖縄の目指すべき将来像を実現し、新時代沖縄を構築するためには、更なる政策の推進が必要であることから、同会議は、知事が政策を推進する上で意思決定の参考とする意見を聴くことを目的としております。そのため、はじめから一つの側面に絞って議論を行うのではなく、委員のこれまでの知見や経験などに基づき、本県が取り得る政策の方向性について様々な側面からの御意見を知事へ提言していただきたいと考えております(表 1 及び別添資料 1 を参照)。

表 1) 万国津梁会議と一般的な会議の違い

	万国津梁会議	一般的な会議	
	会 合	附属機関 (審議会等)	会 合
会議設置の背景	知事公約	法律・条例	社会問題・事件事故等
議題(テーマ)設定の経緯	知事が施策推進の必要があると示すテーマ		
会議設置の目的	知事自身の意思決定の参考とする意見の聴取	審査、諮問、検討、調停等	行政上の意思決定の参考とする意見の聴取

## 2. 『沖縄 21 世紀ビジョン』と『新たな振興計画』について

『沖縄 21 世紀ビジョン』の実現に向け、県では現在、ビジョンの基本計画となる『新たな振興計画』の策定に向け取り組んでおります。また、計画の円滑な推進のため、必要と認められる制度の創設を国に要望しております。脱プラスチックに関する項目も盛り込んでおりますが、その取組内容については一層の議論と検討が必要となっております(図 1 参照)。

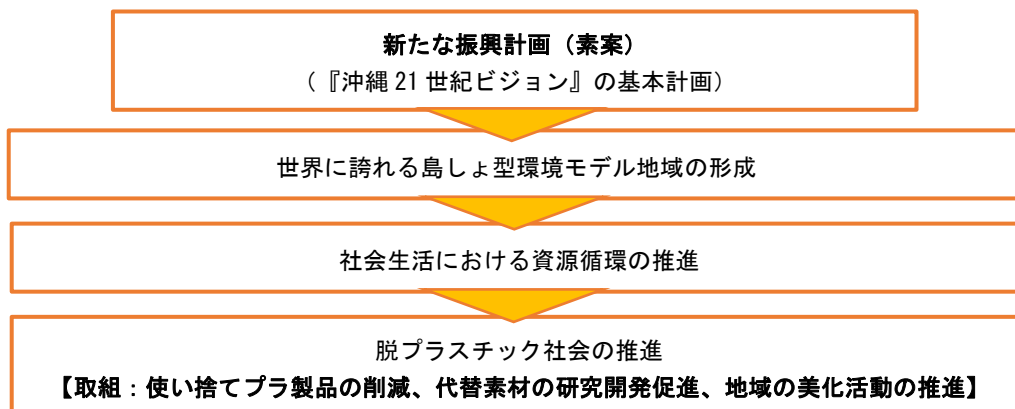


図 1)新たな振興計画に掲載予定の取組内容

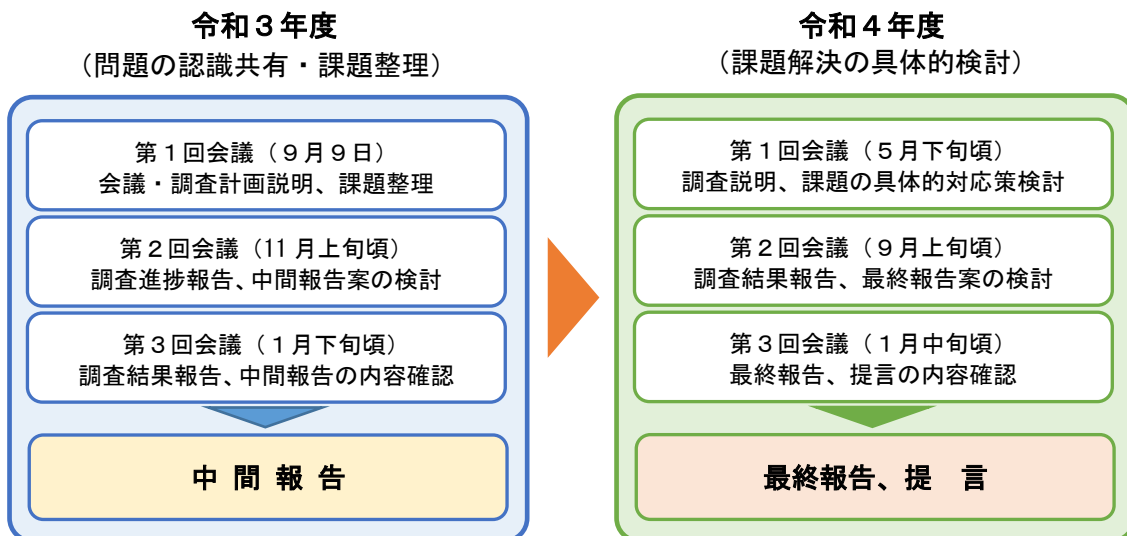
### 3. テーマ選定の経緯と会議の進め方について

現在、プラスチックによる海洋汚染が懸念され、世界的にその対策が進む中、四方を海に囲まれた沖縄県においても、持続可能な島しょ型脱プラスチック社会への変革に向けた取り組みを推進することとしています。本県が島しょ型脱プラスチック社会のフロントランナーとなり、国内外の島しょ地域の持続可能な循環型社会の発展に貢献することを目指し、今年度、知事は万国津梁会議のテーマとして「プラスチック問題」を選定しました。

「プラスチック問題に関する万国津梁会議」において特に期待される議論は、次の2点となります。

1. 沖縄県におけるプラスチック使用削減に向けた現状と課題、解決に向けた方策、リサイクル等資源循環のあり方
2. プラスチックの使用を可能な限り減らした島しょ型脱プラスチック社会のあり方、また、その実現を目指すため、中期・長期的に取り組むべきこと

また、本会議の検討は2カ年を計画しており、初年度は沖縄県のプラスチック問題に関する認識の共有、課題整理を行い、次年度で課題解決の具体的な対応策をご議論いただく予定としています（図2参照）。



※委員任期：令和3年8月23日～令和5年3月31日

図2) プラスチック問題に関する万国津梁会議 スケジュール